

## 暮らしの造形—生活工芸オルタナティブ

安藤雅信

オルタナティブ(Alternative)には「もうひとつの選択、代替」という意味がある。僕がこの言葉を知ったのは、60年代に反体制のうねりとなったロックが、70年代には商業主義に取り込まれて本来の力をなくしたことから、個人の思いを取り戻すべく活動し始めたオルタナティブロックからだった。その存在にある種の共感を持ち、オルタナティブに似た日本語があれば生活工芸にも使いたいと思っていた。

2010年に催した第一回の暮らしの造形展で「文明と共に変化し続ける日常生活に合致することが、生活工芸には求め続けられるであろう。離れてみたり、中に入ってみたりして、常に日常に鋭く関心を向けていなければならない。現代美術と表裏一体である。暮らしの造形とは、作家が切り取った日常を、生活道具や彫刻、絵画に置き換える行為を言う。二人（三谷龍二・辻和美）の活動や興味の幅の広さを知ると、日常食器だけでなく、美術作品を制作することに必然を感じるし、それは自然な行為だと思えてくる」という文章を書いた。

今展のタイトルを決める時、辻さんの口から「生活工芸オルタナティブ」と出て驚いた。ここ10年程の間に生活工芸スタイルが踏襲され、拡がりつつある方向性に対する反骨の言葉だと思った。「スタイルに固まらず、自分の興味に真摯に向き合えば、常にもう一つの選択をし続けることになる」と彼女は言いたかったのではないか。今展に参加する辻さんとナカオ君の共通のテーマは「プラスチック」。二人は新たな価値をプラスチックに見出し、作品に活かしている。辻さんはガラス・金属製品や陶磁器などの代替物として発展してきたプラスチックが、ペットボトル飲料で独自の形を持ったことを発見し、それをガラス素材で写すという、ある意味パロディーのような作品を展開した。ガラスの代用品として使い捨てられることが多く、強度を持たせるための凹凸があるペットボトルに、造形的な面白さと、写し写されの逆輸入的価値を発見するというまさに辻さんのオルタナティブ。

一方のナカオ君は工芸にはほとんど使われることのない、FRPというプラスチック素材を扱う作家である。実素材の代替物として用いられることが多かったFRPを使い、磨き上げた乳白色の洗い素材感を生かしながら、日常生活の道具を丁寧に作っている。光の透けが何とも言えない鈍さを持って美しい。

生活工芸オルタナティブの意味に、アーティスティックな視点を持つと付け加えても良いのかもしれない。生活工芸の本質は技を極めることではなく、アートを指向するのでもなく、自我の表現でもない。強いて言えば、あまり価値をおかれていないものに、新たな価値を与えることでないか。二人の活動を見てきて、そう感じている。

### 初日(2.26)の予約制につきまして

[ご予約開始日: 2.12 sat AM10:00より]

混雑を避けるため初日のみ14時までのご来廊はご予約制となります。

予約枠: 1部 11:00- / 2部 12:00- / 3部 13:00-

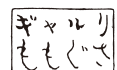
応募方法の詳細はホームページ([www.momogusa.jp](http://www.momogusa.jp))をご覧ください。

### schedule

3.14 mon- 3.18 fri 展示替えのため休廊  
3.19 sat- 4.3 mon 盆栽展 休廊日未定  
4.4 mon- 4.8 fri 展示替えのため休廊  
4.9 sat- 4.17 sun one room exhibition: antipast

### momogusa cafe

ももぐさカフェは常設メニューの軽食とお飲み物のご用意です。  
11:00-18:00 (L.O 17:30) メニュー・席の予約不可



〒507-0013 岐阜県多治見市東栄町2-8-16  
tel. & fax. 0572 21 3368  
<https://www.momogusa.jp>

多治見ICより車で10分 / JR多治見駅北口よりタクシー12分  
(JR多治見駅より東鉄バス13分「高田口」下車1km)



工芸青花 トークショー予約  
百草 特設サイト



## 暮らしの造形 XI

2022.2.26 sat-3.13 sun

11:00-18:00 3.1 tue, 3.9 wed 休廊

辻和美 ————— 在廊日: 2.26 sat, 27 sun

ナカオタカシ ————— 在廊日: 2.26 sat

初日(2.26)11時-14時まで予約制 / カフェは予約なしで利用可  
1部 11:00- / 2部 12:00- / 3部 13:00- / 14:00以降は予約不要  
詳しくは百草HP 特設サイトをご確認ください

galerie  
momogusa

百草



## 辻和美

金沢美術工芸大学商業デザイン科卒業後、カリフォルニア美術大学（CCAC）卒業。ガラスを学ぶ。その後日本に戻り金沢卯辰山工芸工房にて専門員を務め、1999年に独立。金沢市内にガラス工房「factory zoomer」を設立。作家の日常の身近なテーマをガラス素材にて表現。器やアートの境界をとくに意識しない物作りをする。

1999年 発電所美術館にて「三人のGLASS展」出品。

2005年 金沢市犀川ほとりに「factory zoomer/shop」をオープン。

2006年 群馬県立館林美術館にて「光のかげら」展に出品。

2008年「Daily Life ー辻和美作品集」上梓。

2009年 金沢市文化活動賞受賞。

2010年 金沢21世紀美術館「KOGEIいろいろ」出品。

2010年～2016年 金沢市主宰の生活工芸プロジェクトディレクターを務める。

金沢にて「生活工芸展」「作る力」「繋ぐ力」展、実ショップ「モノトヒト」をディレクション。

2016年 金沢市広坂に「factory zoomer/gallery」をオープン。

2020年 名古屋ミッドランドスクエアにて「Daily Life-reclaimed blue-再生ガラスによるクリスマスツリー」制作、設営。同作品で日本空間デザイン賞、サステナブル賞受賞。

●現在作家を含め5人で制作に携わる。日本全国をはじめ韓国、アメリカなどで個展多数。



## ナカオタカシ

1972年 愛知県名古屋生まれ。

2001年 合成樹脂、FRP(Fiber Reinforced Plastics)を用いて制作を始める。  
以降、名古屋市内のアトリエにて制作を続ける。

---

暮らしの造形—生活工芸オルタナティブ 記念トークショー

辻和美+三谷龍二+安藤雅信 | 生活工芸と海外

展示会の関連企画としてトークショーを開催致します。今展もこのトークショーも生活工芸の可能性を問うものです。(主催は工芸青花・新潮社となります)

2.26 sat 17:00-19:00 百草にて

定員35名 / 3,500円 / 工芸青花主催

予約は裏面の工芸青花ホームページをご覧ください。

なお、工芸青花+悠庵にて、「つどう展2」を同時開催 (2.25 fri-3.1 tue) しております。

プラスチック茶会

作家と共にプラスチックをテーマにした茶会を開催します。

2.27 sun 11:30-12:30, 13:30-14:30, 15:30-16:30

各席10名 / 6,000円

詳しくは裏面の百草ホームページをご覧ください。